

【主題名】 集団生活の充実と自分の成長 内容項目「C-(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実」

【教材名】 明かりの下の燭台 (講談社 なせば成る!)

<あらすじ> バレーボール選手としてオリンピックを目指していた主人公は、ある日、監督からマネージャーの仕事に依頼される。悩んだ末、マネージャーを引き受けた主人公は、その後、4年間、チームのために尽力し、金メダル獲得に貢献する。

【ねらい】

☑ 内容項目の理解

よりよい学校生活, 集団生活の充実の中で, 集団生活の充実という道徳的価値について指導する。

☑ 児童生徒の実態把握

集団生活を充実させることの大切さについて理解しているものの, 自分の気持ちを優先させてしまい, 与えられた役割を果たすことができない生徒が多い。

☑ 本時のねらいを設定する

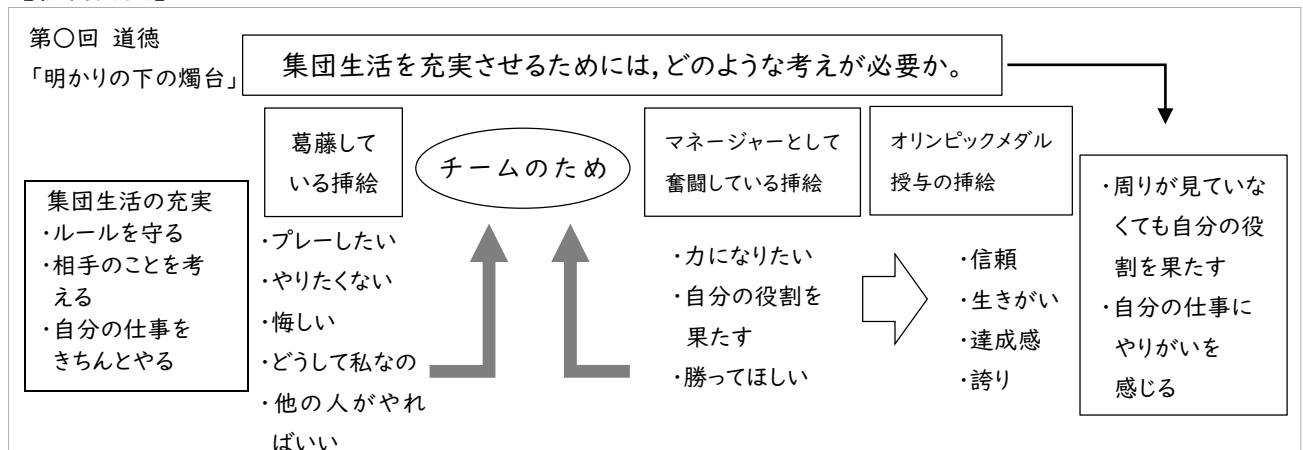
判断力 心情 実践意欲 態度

集団生活の充実に努めることの意義について理解し, 集団の中で自分の役割を果たし, 集団生活の充実と自己の成長の両方を実現しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

【学習指導過程】

段階	学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。</p> <p>○ 集団生活を充実させるために大切なことは何ですか。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <p>集団生活を充実させるためには, どのような考えが必要か。</p>	問題解決的な学習
展開	<p>3 集団生活を充実させるために必要なことについて考える。</p> <p>○ 監督からマネージャーを依頼されたときの鈴木さんは, どのような気持ちだったと思いますか。</p> <p>◎ マネージャーとして, 4年間, 文句を一切言わずに頑張った鈴木さんを支えたものは何だったのでしょうか。</p> <p>○ 選手, マネージャーと立場が変わっても, 鈴木さんの中で変わらないものは何だと思いますか。</p> <p>○ 優勝しても金メダルをもらえなかった鈴木さんが, 4年間のマネージャーとしての活動を通して得たものは何だと思いますか。</p>	多面的・多角的
終末	<p>4 自己の生き方について考える。</p> <p>○ 集団生活を充実させるためには, どのような考えが必要か自分の考えを書きましょう。</p>	自分との関わり 終末の工夫

【板書計画】



【評価】

集団生活の充実について, 自分との関わりの中で考える学習を通して, これからの生き方に生かそうとしていたか。